



# 【foR-Aプロジェクト】 SDG s を見据えた福島農産物のブランド化と健康寿命延伸～美味しさと健康を一つに～ (食農学類：平修（代表）・深山陽子，牧雅康)

## チーム編成

【牧（福島大）】

遠隔データ収集S開発  
気象・環境情報の活用

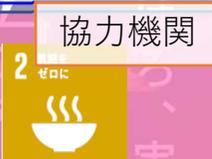


【平（福島大）】 福島県産農産物見える化

イメージング質量分析  
食と健康



【福島県農業総合センター】  
【JAふくしま未来】  
【難波憲吾（県内専業農家）】



【深山（福島大）】 福島大園場に再現

脱炭素社会の農学的アプローチ



## 本提案の目指すところ

10～100年後の気候変動を  
シミュレーションし栽培適地の移動を予測。  
農業の作業負担を50%軽減、収穫率の30%向上

2021

各地域における、  
持続可能な作物栽培を行える品種、  
育成条件を提供

2030

貧困・飢餓が無く  
全ての人々が教養を持ち  
健康寿命の長い社会の実現

2050

## 農業用ハウスの高度化

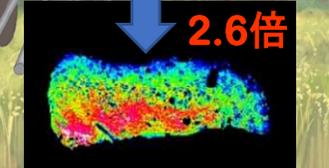
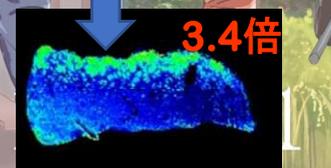
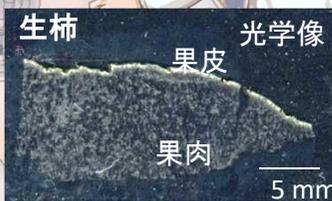
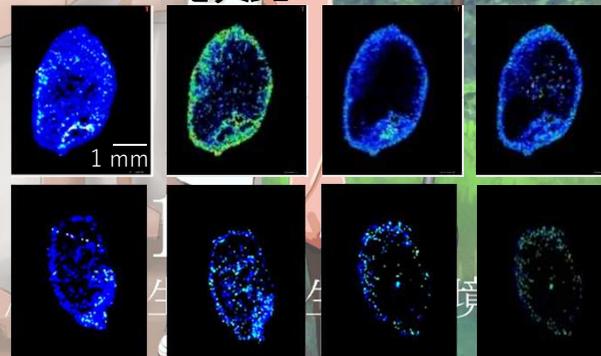
▶福島県9地域の気候（温度・湿度・  
CO<sub>2</sub>レベルなど）リアルタイム収集。  
福島大で気象条件を再現  
（福島を一つに）

## イメージング質量分析による見える化

- ▶最先端分析機器による  
収穫物の品質評価に関する科学的解明
- ▶機器のリモート化(外部利用促進)
- ▶健康寿命延伸の科学的根拠と、農産物に付加価値  
を付与

二日酔い防止  
肝機能改善  
代謝活性  
美肌効果  
更年期障害改善  
癌予防

福島県産米



 Fukushima Univ. **× Bruker**  
Tohoku  
Showroom

